

2024 年度事業報告（案）

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2024 年度の経過

2024 年度、当協会は、以下の事業を実施しました。

第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海を、開催しました。日本福祉大学を会場とし、中部支部の会員を中心として実行委員会を組織しました。中部支部の皆様、ありがとうございました。久しぶりの中部支部開催で多くの会員の参加もありました。

福祉機器コンテスト 2024 は、特別協賛、協賛企業様にご支援いただき、募集から一次選考会、第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海での二次選考会を経て H.C.R. 2024（第 51 回国際福祉機器展）の出展社プレゼンテーションの場で、受賞作品の表彰へと進めました。また昨年に引き続き、厚生労働省と（公財）テクノエイド協会の協力を得て、障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会 2024」大阪会場、東京会場において、当該事業および受賞作品の広報を当協会ブースで行いました。

協会誌は Vol. 39 No. 3 から Vol. 40 No. 2 まで 4 回発行しました。特集内容は多岐にわたり、論文投稿も増えました。電子化によるアクセスの向上も進みました。帝京平成大学の徳田良英氏から関西福祉科学大学の有久勝彦氏に、円滑に協会誌編集委員長を担っていただき、委員会内組織として、2 つの小委員会も、村岡健史氏と並木重宏氏に運営をお願いすることができました。協会員の皆様の積極的な投稿を期待しています。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG (Special Interest Group) 関連は基本的に内部化についての理解は得られ、必要な手続きをしていただき、長年の懸案を解消できる方向にまでなりました。対面開催の SIG 講習会企画も開催されました。多くの参加者で、今後もより多くの企画が進むことを期待しています。

地域支部は、Web 会議システムを利用して、企画した支部のイベントに、離れた地域からも参画できる仕組みが継続的になりました。支部内は距離的には近いとはいえ、支部としての対面開催は、いずれも厳しいものがあります。各支部でできることを協会としても更に支えていきます。協会本部主導のイベント、リハ工 ミライ・アッセンブリーと、さらなる連携を進めます。

災害対策は、災害対策委員会を中心に継続して積極的に動きました。（一社）日本災害リハビリテーション支援協会 JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team) に参画し、活動しました。地域での活動も連携が可能になった事例もありました。協会としては、継続的に他の JRAT 加盟団体と情報共有し、適切な支援の継続を進めます。委員会主導では、第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海でのセミナー・展示を実施しました。セミナーは反響が大きかったこともあり、公開方法を検討します。

企画推進事業は、リハ工 ミライ・アッセンブリーを定期開催することが出来ました。対面開催イベントが再開され、出展者セミナーも継続的に対応することが出来ています。バリアフリー2025 では、関西支部の島本卓氏から、テーマ「重度身体障害者の一人暮らし」のセミナーを開催しました。多くの参加者で、好評でした。

国際連携は、GAATO (Global Alliance of Assistive Technology Organizations) 加盟団体として、総会、理事会に参加し、GAATO が進める支援機器の効果に関する国際的な検討、世界保健機構 (WHO) との協力・連携事業にも積極的に参加しました。また、CREATe ASIA のカンファレンスについても、ホームページ、協会誌にて情報共有をしました。

総務関連では、協会が一般社団法人として問題解決を図りながら、より適切な活動を進めます。インボイスも対応可能な状況になり、適切な財務事務を、さらに徹底します。協会誌の電子化に伴い、事務局業務の電子化への道筋についても、さらに検討を進めます。

以上、2024 年度の事業の概要について、ご報告させていただきます。

代議員・役員選挙に関しては、遅延が発生し、年度内での成立が出来ませんでした。大変申し訳ありません。

円滑な協会活動が出来るように、努力いたします。

理事会の対面開催で、多くの問題解決をすることが出来ました。事業の推進を更に進めるために、活動を積極的に行っていきます。これまでの会員の皆様の協力に感謝し、事業の概要報告を終わらせていただきます。

会長 河合 俊宏

1 社員・会員

1. 1 法人社員・会員

2024年7月1日 正会員 548 名（うち社員（代議員） 65 名）、学生会員 8 名
賛助会員数 13 社（43 口）

2025年6月30日 正会員 522 名（うち社員（代議員） 65 名）、学生会員 11 名
賛助会員数 14 社（46 口）

2 事業

当協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の 2024 年度の活動を報告する。

2. 1 リハ工学カンファレンス関連（担当理事：鈴木太・渡辺崇史）

（1）第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海 開催

- ・テーマ：出会いが生むミライ～人とテクノロジーが紡ぐみんなの暮らし～
- ・開催日：2024 年 8 月 23 日（金）～25 日（日）
- ・会場：日本福祉大学東海キャンパス（愛知県東海市）
- ・大会長：渡辺崇史氏（日本福祉大学健康科学部 教授 福祉テクノロジーセンター長）
- ・実行委員長：長束晶夫氏（名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ）
- ・発表数 86 演題、参加者数 302 名

＜併設事業＞

- ・2024 年 8 月 25 日（日） 市民公開講座として駅前広場イベントを開催
- ・2024 年 9 月 7 日（土） ポストカンファレンスをオンライン形式で実施（4 演題、参加者数 41 名）

（2）第 39 回リハ工学カンファレンス in 東京 準備

- ・テーマ：アクセシブルな未来のデザイン
- ・開催日：2025 年 8 月 8 日（金）～10 日（日）
- ・会場：東洋大学 赤羽台キャンパス（東京都北区）
- ・実行委員長：高橋良至氏（東洋大学 福祉社会デザイン学部 教授）

2. 2 福祉機器コンテスト関連（担当理事：村田知之）

（1）福祉機器コンテスト 2024

1）協賛

- ・特別協賛フランスベッド株式会社はじめ、協賛企業 3 社の支援により実施

2）一次選考会の開催

- ・機器開発部門 応募 15 作品（会員 4 件、非会員 11 件）から 8 作品を選出
- ・応募 31 作品（会員 1 件、非会員 30 件）から 9 作品を選出

3）二次選考会の開催

- ・機器開発部門・学生部門を選考委員参集及び Web 会議システムによるハイブリッド形式で開催

機器開発部門は、応募者によるプレゼンテーション及び実機による審査を実施

学生部門は、実機による審査を実施

開催日：2024年8月24日（土）

4) 発表及び表彰

- ・第38回リハ工学カンファレンス in 東海のプログラム内で、受賞結果を報告

開催日：2024年8月25日（日）

5) 展示、広報

- ・第38回リハ工学カンファレンス in 東海での機器開発部門及び学生部門一次選考会通過作品の展示

開催日：2024年8月23日（金）～25日（日）

- ・H.C.R.2024（第51回国際福祉機器展）出展社プレゼンテーションにおいて、受賞作品の紹介と表彰を実施

開催日：2024年10月4日（金）

会場：東京ビッグサイト東展示ホール（東京都）

- ・ニーズ・シーズマッチング交流会（大阪会場）での受賞作品紹介

開催日：2024年11月25日（月）～27日（水）

会場：大阪マーチャンダイズ・マート（大阪府）

- ・ニーズ・シーズマッチング交流会（東京会場）での受賞作品の展示とセミナーでの講演

開催日：2024年12月10日（火）～12日（木）

会場：東京都立産業貿易センター（東京都）

- ・協会ホームページへの掲載

- ・会員メーリングリストでの配信

- ・協会誌への掲載

- ・SNS（協会公式アカウント）への掲載

(2) 福祉機器コンテスト 2025

1) 福祉機器コンテスト 2025 事務局の設置 2025年3月1日（土）

2) 選考委員会の設置 2025年4月1日（火）、選考委員依頼

3) 後援団体への後援名義使用申請、企業への協賛依頼

4) 広報開始 2025年4月中旬から

5) 募集期間

- ・機器開発部門：2025年4月14日（月）～5月31日（土）

- ・学生部門：2025年4月14日（月）～5月31日（土）

6) 申込数

- ・機器開発部門 応募数：13件（会員4件、非会員9件）

- ・学生部門 応募数：18件（会員0件、非会員18件）

7) 展示、広報

- ・協会ホームページへの掲載

- ・会員メーリングリストでの配信

- ・協会誌への掲載

- ・SNS（協会公式アカウント）への掲載

- ・ニーズ・シーズマッチング交流会（大阪会場）：2024年11月25日（月）～27日（水）

- ・ニーズ・シーズマッチング交流会（東京会場）：2024年12月10日（火）～12日（木）

- ・バリアフリー2025：2025年4月16日（水）～18日（金）

2. 3 協会誌関連（担当理事：植田瑞昌・小島みさお）

（1）協会誌編集委員会

年4回協会誌の発行に合わせて必要に応じて委員会を開催

（任期中4回のうち初めと終わりの2回は対面での開催）

（2）協会誌発行

以下について、企画・準備・発行を実施

- ・ Vol. 39 No. 3 「災害対応のアップデート」
- ・ Vol. 39 No. 4 「福祉用具に求められるデザイン」
- ・ Vol. 40 No. 1 「挑戦への第一歩～パラスポーツで叶える自分の可能性～」
- ・ Vol. 40 No. 2 「介護ベッド（特殊寝台）の活用で生活をより豊かに」

（3）投稿論文（査読依頼）

2024年度投稿9件の査読者選定・査読依頼・結果通知を進行

- ・ 投稿論文については、査読論文小委員会にて査読者を選定・依頼
- ・ 2024年4月から投稿規定が改訂され、年4回の締め切りを設けたため、委員会をあらかじめ設定することができ、迅速に対応が可能となった。

（4）協会誌の段階的電子化

- ・ 協会誌電子化作業のうち J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）搭載を株式会社ジェイピーシーに依頼し、1年間は認証付きで、1年を経過したものはフリー公開している。さらにバックナンバーを順次掲載している。
- ・ 今般の郵送費の高騰（送料の倍増）と電子ジャーナルにおける情報保障、SDGsの観点から紙媒体での発行回数の見直し及び電子化も含め見積もりを依頼
- ・ 会員向けアンケート調査の結果を協会誌 Vol. 40 No. 2に掲載

（5）協会誌編集委員会事務局委託

協会誌編集委員会事務局幹事を松田健太氏（神奈川県総合リハビリテーションセンター）に委託

（6）その他

第38回リハ工学カンファレンス in 東海にて座長推薦を行い、優秀発表賞を授与した。受賞者は3名となった。そのほか、座長推薦のあった発表者には論文投稿を促し、投稿につながっている。

2. 4 分科会（SIG）（担当理事：桂律也）

（1）SIG 活動支援（各SIGの活動報告を別紙1に記す）

- ・ 7月に車いすSIG、11月にSIG姿勢保持が法人内に設置され、コミュニケーションSIGとSIG住まいづくりについても、2024年度内に設立申請を提出できるように調整を図った。
- ・ 各SIG主催の講習会等に、広報等で協力し、申請のあったものについては活動費を支給
- ・ 第38回リハ工学カンファレンス in 東海でのSIGセッション開催、第39回リハ工学カンファレンス in 東京でのSIGセッション開催要請等協会事業への協力を要請

（2）SIG合同企画の開催

- ・ SIG合同企画については、時期・内容・場所等を含めた実現可能性の検討を行ったが、実現に至らず次年度以降に持ち越しとなった。

2. 5 分科会（支部）・専門委員会（担当理事：小島みさお・植田瑞昌）

（1）支部活動への支援（各支部の活動報告を別紙2に記す）

- ・ 各支部ではリハ工学に関わる人的ネットワークを構築できるよう、協会誌やホームページで支部の活動情

報を掲載し、会員への周知を図った。各支部で活動状況に差があるので、本部や他の委員会と協力し、さらなる支部活動への支援を積極的に行った。

- ・継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金を配分
- ・活発な活動が行えた支部については、随時、協会誌またはホームページにて活動を報告
- ・活動が行えていない支部もあり、体制の構築に向けて検討
- ・支部活性化のための情報発信の簡便化や効率化等について検討し、一部の支部でLINEオープンチャットの利用を開始

(2) リハ工 ミライ・アッセンブリー等イベント協力

- ・第6回、第7回リハ工 ミライ・アッセンブリー、全国頸髄損傷者連絡会との連携セミナーの開催に向けて企画提案・運営協力
- ・H.C.R. 2024（第51回国際福祉機器展）、ニーズ・シーズマッチング交流会（大阪会場、東京会場）、バリアフリー2025等のイベント協力

(3) 2025年度活動計画

- ・次年度の活動計画を作成
- ・リハ工学カンファレンスにて、地域支部メンバー間の交流、活動を行えていない支部の体制構築に向けたイベント実施を検討

2. 6 企画推進事業（企画担当理事：伊佐拓哲・中村詩子）

(1) 研修企画委員会

- ・「研修企画委員会」を専門委員会から事業委員会に移行し、常設化

(2) 協会主催セミナー等事業

1) バリアフリー2025出展社セミナー開催

- ・テーマ：「重度身体障害者の一人暮らし」
- ・会期：2025年4月16日（水）15：30～16：30
- ・会場：セミナー第5会場（参加者38名）
- ・講師：島本卓氏（全国脊髄損傷者連絡会）

2) 連携セミナー開催

- ・テーマ：「電動車椅子で巡る世界一周報告会～準備編～」
- ・会期：2025年5月31日（土）13：30～16：30
- ・会場：KOBÉ Co CREATION CENTER（会場参集及びWeb会議システムによるハイブリッド形式）
- ・参加者：会員22名、非会員28名、全国頸髄損傷者連絡会21名、団体協賛4社
- ・講師：三神崇人氏（理学療法士・コーディネーター）、宮野秀樹氏（全国頸髄損傷者連絡会 事務局長）、大関菜摘氏（看護師・トータルヘルスケア）

(3) リハ工 ミライ・アッセンブリー等の開催

1) 第6回リハ工 ミライ・アッセンブリー開催

- ・テーマ：「車いすや電動車いす、福祉用具を選定・入手するための制度としくみを学ぶ」
- ・会期：2024年12月1日（日）10：00～12：00
- ・会場・参加者：Web会議システム・申込61名、瞬間最大アクセス52名
- ・講師：井村保氏（中部学院大学）、芝崎泰造氏（日本車椅子シーティング協会）、渡辺崇史氏（日本福祉大学）

2) 第7回リハ工 ミライ・アッセンブリー開催

- ・テーマ：リハ工おもちゃ箱～医療、福祉、教育、地域を拓く工夫と技術を集めて～

- ・会期：2025年5月9日（金）19：00～20：30
- ・会場・参加者：Web会議システムによるオンライン形式・申込43名、瞬間最大アクセス33名
- ・講師：六名泰彦氏（吉備高原医療リハビリテーションセンター）、高橋一郎氏（訪問看護ステーションおたすけまん）、圓井美貴子氏（徳島県肢体不自由児者父母の会連合会）、鈴木太氏（愛媛県聴覚障害者連合会）

（4）協会設立40周年記念事業の検討

- ・専門委員会「40周年記念事業委員会」を設置

2. 7 事業統括事業（事業統括担当理事：金井謙介）

（1）学会展示会、広報活動強化

1）H.C.R. 2024（第51回国際福祉機器展）へ出展

- ・開催日：2024年10月2日（水）～4日（金）
- ・会場：東京ビッグサイト東展示ホール（東京都）
- ・協力支部：関東・甲信越支部

2）ニーズ・シーズマッチング交流会2024へ出展

- ・開催日：大阪会場 2024年11月25日（月）～27日（水）、東京会場 2024年12月10日（火）～12日（木）
- ・会場：大阪マーチャндаイズ・マート（大阪府）、東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都）
- ・協力支部：関西支部、関東・甲信越支部

3）バリアフリー2025へ出展

- ・開催日：2025年4月16日（水）～18日（金）
- ・会場：インテックス大阪（大阪府）
- ・協力支部：関西支部

（2）セミナー開催

1）H.C.R. 2024（第51回国際福祉機器展）出展社プレゼンテーション実施

- ・テーマ：「最先端の福祉用具紹介～福祉機器コンテスト2024受賞から～」
- ・開催日：2024年10月4日（金） 10:30～11:30
- ・講師：村田知之氏（福祉機器コンテスト担当理事）
- ・参加：45名

2）バリアフリー2025 出展者セミナー実施

- ・テーマ：「重度身体障害者の一人暮らし」
- ・開催日：2025年4月16日（水）
- ・会場：インテックス大阪（大阪府）
- ・講師：島本卓氏（関西支部）
- ・協力：関西支部
- ・参加：38名

（3）情報保障の拡充

リハ工学カンファレンス等にて情報保障の実施できる体制を整備したが、本年度は使用実績なし

2. 8 国際関連の事業（担当理事：森田千晶・桂律也）

（1）国際関連団体との相互協定に基づく交流

1）GAATO（Global Alliance of Assistive Technology Organizations）

- ・理事派遣：国際関連推進委員会からGAATO理事として各種委員会出席（オンライン形式）

2) RESKO(Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of Korea)、TREATS(Taiwan Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society)との協定による各団体カンファレンスへの各団体代表の参加支援

- ・当協会代表者の関連団体 (CREATe Asia:The Coalition on Rehabilitation Engineering & Assistive Technology of Asia、RESKO、TREATS、RESNA:Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society on North America等) への参加希望者の参加支援

(2) 国際連携推進委員会の開催

- ・理事会のもとに協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置し、Web会議またはメールにて年2回程度または必要時に委員会を開催
- ・関連団体が開催するカンファレンス等の会員への情報提供

2. 9 災害対策関連 (担当理事：早川康之)

(1) 災害対策委員会活動

- ・7回の対面及びWeb会議による委員会を開催し、災害対策に関する啓発セミナー実施について検討

(2) 災害対策セミナー等の開催

- ・リハ工学カンファレンス内で災害対策セミナーの開催、災害対策用品、段ボール家具等を展示 (セミナー 2024年8月24日(土) 参加者約30名 展示 2024年8月23日(金)～25日(日))
- ・八王子いちよう祭りでの一般市民を対象とした災害対策セミナー及びワークショップの開催、災害対策用品、段ボール家具等を展示 (2024年11月16日(土)～17日(日) 来場者約420名)

(3) 災害対策マニュアルの作成

- ・ホームページへのセミナー内容の公開を検討

(4) 他団体との協働

- ・日本災害リハビリテーション支援協会Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team (JRAT) の正会員として、理事会、各委員会活動へ参加
- ・地域JRAT (北海道JRAT) へ、リハ工学協会として参加

3 総務

3. 1 選挙・規則 (担当理事：江原喜人)

(1) 2025年度代議員選挙・役員候補者選挙

- ・代議員及び役員の任期満了に伴いWeb選挙システムによる代議員選挙、役員候補者選挙の準備
- ・代議員選挙ならびに役員候補者選挙において選挙管理委員会に対して支援

(2) 規定の整備

- ・各種規則等の規定状況を確認し、運用上の問題点や改訂の必要性等について検討

3. 2 財務 (担当理事：江原喜人・桂律也・金井謙介)

(1) 法人会計の管理

- ・2023年度決算の実施及び決算書作成
- ・四半期決算の実施及び2024年度決算の実施
- ・インボイス、資産管理等に関する会計士への確認
- ・2025年度予算案の作成

(2) 分科会・支部の連結決算の準備

- ・分科会・支部の会計状況の把握

- ・会計システムの構築
- (3) その他
- ・カンファレンス及びコンテストの会計管理に関する検討

3. 3 総会・理事会 (担当理事：北野義明・江原喜人)

- (1) 2024年度社員総会の開催
- ・2024年度定時社員総会
開催日：2024年8月24日（土）11:40～12:40
会場：日本福祉大学東海キャンパス（愛知県東海市）
- (2) 2024年度理事会の開催
- ・第1回(通算第92回) 2024年7月21日(日) (対面及びWeb会議)
 - ・第2回(通算第93回) 2024年10月6日(日) (Web会議)
 - ・第3回(通算第94回) 2024年11月2日(日)～11日(月) 臨時理事会（電磁的手段）
 - ・第4回(通算第95回) 2024年12月15日(日) (Web会議)
 - ・第5回(通算第96回) 2025年3月2日(日) (対面会議)
 - ・第6回(通算第97回) 2025年6月8日(日) (対面会議)
- (3) 2025年度社員総会の準備
- 2025年度定時社員総会の開催について、各理事に「2024年度事業報告」及び「2025年度事業計画書・予算要求書」の提出を依頼し、「2024年度事業報告(案)」及び「2025年度事業計画(案)」を作成

3. 4 広報・渉外 (担当理事：小林博光・鈴木太)

- (1) 協会リーフレット印刷
- ・残部数の確認を行い、適宜500部印刷
- (2) Web会議システム利用
- ・Web会議システムによる理事会及び関連会議、各種イベントの適宜開催設定、レコーディングデータの管理（一定期間の保存と削除）
- (3) 外部ストレージ利用
- ・使用状況及び残容量を確認
- (4) Web・メールサーバー運用管理
- ・Webコンテンツの情報更新、メーリングリストやメールマガジンの登録及び変更、メールアドレス管理、メールニュース送信
 - ・迷惑メールフィルタリング操作、メーリングリスト不達現象調査及び対策
 - ・ドメイン管理を「名づけてねっと（株式会社NTTPCコミュニケーションズ）」から「ムームードメイン（GMOペパボ株式会社）」へ変更
- (5) その他
- ・インターネットを利用した会員登録システムと会費徴収システムの調査
 - ・広報用公式SNSの管理運用についての確認・調査
 - ・動画共有サイトへのSIGイベント映像のアップロード

4 事務局 (事務局統括理事：江原喜人)

- (1) 事務局運営
- ・法人としての事務局運営及び法人会計の更なる整備

(2) 会員情報管理システム導入検討

- ・年間利用料の負担が協会の全体予算に対して大きいことから昨年度に引き続きシステム導入を見送り、システムに関する情報収集や調査、検討を継続

(3) 展示会出展における広報活動

- ・2024年10月2日（水）～4日（金）H.C.R.2024（第51回国際福祉機器展）（東京都）、2025年4月16日（水）～18日（金）バリアフリー2025（大阪府）に出展し、ブースにおける広報活動を実施

5 後援・協賛事業

2024年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2024年7月6日	第21回ケアリフォームシステム研究会 全国大会in兵庫
2	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2024年8月30日～9月1日	日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会
3	協賛	一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会、一般社団法人日本機械学会	2024年9月12日～14日	LIFE2024 ※生体医工学シンポジウム(公益社団法人生体医工学会)との合同開催
4	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2024年9月18日～20日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2024
5	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2024年11月6日～9日	第8回アジア太平洋作業療法学会 11/9～10：第58回日本作業療法学会
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2024年11月9日～10日	第58回日本作業療法学会
7	協賛	感覚代行研究会	2024年12月2日～6日	第50回（2024年）感覚代行シンポジウム
8	後援	特定非営利活動法人日本シーティング・コンサルタント協会	2024年12月14日～15日	第19回日本シーティング・シンポジウム
9	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2024年12月18日～20日	第25回システムインテグレーション部門講演会（SI2024）
10	後援	一般社団法人日本身体障害者補助犬学会	2025年1月11日～12日	日本身体障害者補助犬学会第16回学術大会
11	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2025年4月21日	NPO法人ケアリフォームシステム研究会 第22回全国大会inさいたま
12	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリア リハビリテーション学会	2025年4月26日	第28回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
13	後援	公益社団法人日本理学療法士協会	2025年5月31日～6月1日	第60回日本理学療法学会学術研修大会
14	後援	第6回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会	2025年6月19日（オンライン併用）	第6回福祉用具専門相談員研究大会

【別紙1】

2024年度 SIG活動報告

※SIG 会員数（協会員数）は2025年6月1日現在

SIG 姿勢保持 会員数：27名 ホームページ URL <https://www.resja.or.jp/posi-sig/>

代表者：繁成剛氏、事務局長：児玉真一氏

- ・WEB サイト運営、会員専用MLへの情報発信、リハ工学協会事業への協力
- ・役員会：2025年1月20日（月）
- ・講習会：2024年8月3日（土）・4日（日） 主会場：横浜ラポール
会場参集及びWeb 会議システムによるハイブリッド形式で開催
- ・次年度講習会準備委員会：2025年3月17日（月）、4月3日（木）、4月28日（月）、5月29日（木）
- ・書籍（小児から高齢者までの姿勢保持・第2版）や資料集PDF版の販売

車いす SIG 会員数：39名 ホームページ URL <https://www.wheelchair-sig.jp/>

代表者：沖川悦三氏、事務局長：深野栄子氏

- ・役員会開催
- ・車いす SIG 講習会開催 2025年5月24日（土）～25日（日） 横浜市スポーツ医科学センター（神奈川県横浜市）
- ・車いすの歴史調査報告会 2024年10月19日（土）～20日（日） 加瀬ビル88（神奈川県横浜市）
- ・歴史的文化財（昭和初期と思われる車椅子）調査
- ・新聞社からの取材（車いすの歴史）
- ・WEB サイト運営、講習会の案内メール配信
- ・日本車椅子シーティング協会車椅子姿勢保持基礎講習会（障害分野）の共催
- ・リハ工学カンファレンスでの座長、SIG セッション、プレカンファレンス等、報告会動画の協会アカウント SNS での公開等、本協会事業への協力
- ・講習会テキストのバックナンバー及び関連書籍の頒布
- ・車いす SIG 設立 35 周年／講習会 30 周年／開催 50 回記念誌の頒布

自助具 SIG 会員数（Facebook グループ登録者）46名 ホームページなし

代表者（事務局兼務）：岡田英志氏

- ・第38回リハエカンファレンス in 東海での自助具 SIG のセッションへの参加

乗り物 SIG 会員数：5名 ホームページ URL <https://ameblo.jp/sunrisejp007/>

代表者：麩澤孝氏、事務局長：片石任氏

- ・SIG ブログの更新、充実、情報提供・発信、セミナー開催
- ・カンファレンスイベントでのパネリストほか、当協会事業への協力

SIG 褥そう防止装置 会員数 10名 ホームページ URL <https://www.resja.or.jp/sig-pmps/>

代表者（事務局兼務）：新妻淳子氏

- ・具体的な活動実施はできなかったが、会員それぞれが褥瘡予防の啓発行動にかかわる

コミュニケーション SIG 会員数 10名 ホームページ改修中

代表者・事務局長：上野忠浩氏
・法人内 SIG への移行検討、準備

SIG 住まいづくり 会員数：31 名 ホームページ URL <http://www.sig-sumai.info>

代表者：橋本美芽氏、事務局長：鈴木基恵氏

- ・SIG 内部化移行作業
- ・活動方針の検討

特別支援教育 SIG 会員数 5 名 ホームページなし

代表者：松田靖史氏、事務局長：高原光恵氏

- ・リハ工学協会関連行事への参加（ミライ・アッセンブリ等）
- ・教育情報チラシの作成、協会事業への協力

移乗 SIG 会員数：16 名 ホームページ作成中

代表者：古田恒輔氏、事務局長：青木久美子氏

義肢装具 SIG 会員数：23 名 ホームページ URL <https://resja.or.jp/po-sig/>

代表者：笹川友彦氏、事務局長：砂野義信氏

- ・ホームページ運営

2024年度 支部活動報告

東日本支部

(1) 事業概要

東日本支部は、広域であり、会議・セミナー・勉強会等については、Web 会議システム等を活用する検討を継続して行った。東日本大震災等の災害の経験を活かして、地域 JRAT と支部の協力体制を構築していきたいと考えていたが、具体的な活動には至らなかった。

関東・甲信越支部

(1) 事業概要

関東・甲信越支部では、H.C.R.2024（第 51 回国際福祉機器展）や第 45 回八王子いちよう祭り、自立支援機器ニーズ・シーズマッチング交流会 2025 に出展しているブースの運営に協力した。

(2) 主要事業

オープンチャット（LINE）「リハ工関東・甲信越支部」の開設

(3) 他学会等の事業への後援・協賛・協力

1) H.C.R.2024（第 51 回国際福祉機器展）ブース運営の協力

- ・開催日：2024 年 10 月 2 日（水）～4 日（金）
- ・会場：東京ビッグサイト（東京都）

2) 第 45 回八王子いちよう祭りブース運営の協力

- ・開催日：2024 年 11 月 16 日（土）～17 日（日）
- ・会場：イーアス高尾（東京都）

3) ニーズ・シーズマッチング交流会 2024（東京会場）ブース運営の協力

- ・開催日：2024 年 12 月 10 日（火）～12 日（木）
- ・会場：東京都立産業貿易センター（東京都）

中部支部

(1) 事業概要

中部支部では、5 回目 17 年ぶりの開催となる、第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海(2024 年 8 月 23 日～25 日)に向けて実行委員会を設立し、そのプログラムの立案から運営を担当した。また、併設行事となる市民公開講座やポストカンファレンス等の企画と運営実施を行った。

(2) 主要事業

1) 第 38 回リハ工学カンファレンス in 東海の運営

- ・中部支部会員により組織された実行委員会にてカンファレンス運営に尽力

2) 第 6 回ミライ・アッセンブリーへの協力

- ・日時：2024 年 12 月 1 日(日) Web 会議システムによるオンライン形式
- ・実施内容の企画立案、当日の運営スタッフ、及び話題提供者として協力

3) 支部セミナーの開催

今年度は未開催

4) その他

支部役員会の開催

- ・開催日：Web 会議システムによるオンライン形式またはメールによる都度開催
- ・内容：支部事業に関する打ち合わせ

関西支部

(1) 事業概要

関西支部では、2024 年度はバリアフリー2025 出展と、ニーズ・シーズマッチング交流会 2024(大阪)への協力を
行った。また、協会 全国頸髄損傷者連絡会 連携セミナーを関西支部の企画・運営で実施した。

(2) 主要事業

1) 日本リハビリテーション工学協会 全国頸髄損傷者連絡会 連携セミナー：関西支部の企画・運営で開催

- ・開催日：2025 年 5 月 31 日（土）
- ・場 所：KOBE Co CREATION CENTER ルーム A・B（センタープラザ 9 階）
- ・講 師：三神崇人氏、宮野秀樹氏、大関 菜摘氏
- ・テーマ：「電動車椅子で巡る世界一周報告会～準備編～」
- ・参加者：71 名（うちリハ工会員 22 名）

2) バリアフリー2025 ブース運営協力

- ・開催日：2025 年 4 月 16 日（水）～18 日（金）
- ・会場：インテックス大阪（大阪府）
- ・内容：支部スタッフの派遣

3) ニーズ・シーズマッチング交流会 2024（大阪）運営協力

- ・開催日：2024 年 10 月 25 日（月）～27 日（水）
- ・会場：大阪マーチャндаイズ・マート（大阪府）
- ・内容：福祉機器コンテスト入賞作品の展示スタッフの派遣

(3) 他学会等の事業への後援・協賛・協力

- ・協力：日本身体障害者補助犬学会第 16 回学術大会

(4) その他

支部役員会の開催

- ・第一回 開催日：2024 年 10 月 29 日（火）
場 所：Web 会議システムによるオンライン形式
内 容：支部活動費、セミナーの企画、支部ミーティング、カンファレンスについて
- ・第二回 開催日：2025 年 2 月 4 日（火）
場 所：Web 会議システムによるオンライン形式
内 容：カンファレンス、バリアフリー展、関西支部セミナー、役員メンバーについて
- ・第三回 開催日：2025 年 5 月 7 日（水）
場 所：Web 会議システムによるオンライン形式
内 容：カンファレンス、バリアフリー展、役員メンバーについて
- ・第四回 開催日：2025 年 5 月 31 日（土）
場 所：KOBE Co CREATION CENTER ルーム A・B（センタープラザ 9 階）
内 容：カンファレンス、役員メンバーについて
- ・第五回 開催日：2025 年 6 月 24 日（火）
場 所：Web 会議システムによるオンライン形式
内 容：事業報告、事業計画、カンファレンス、役員メンバーについて

中国・四国支部

支部代表退任に伴い、組織の編成を行い、今後の活動計画の策定を行うべく、有志により活動再開の検討を開始した。

(1) 事業概要

8月カンファレンス支部ミーティング時に集まった中国・四国地方の有志により、月1回のオンライン会議を実施。第7回リハエミライ・アッセンブリーを担当。

(2) 主要事業

1) 支部検討・ミライ・アッセンブリー検討会議の開催

- ・開催日：2024年12月12日(木)、2025年1月16日(木)、2月20日(木)、3月12日(水)、4月17日(木)、5月15日(木)、6月19日(木)の計7回開催
- ・内容：ミライ・アッセンブリーの内容検討と支部形成について

2) 第7回リハエミライ・アッセンブリーへの運営協力

- ・テーマ：リハエおもちゃ箱～医療、福祉、教育、地域を拓く工夫と技術を集めて～
- ・開催日：2025年5月9日(金)
- ・会場：Web会議システムによるオンライン形式
- ・中国・四国地方有志4人が活動報告

(3) その他

- ・支部形成に向けた話し合いを行ったが、合意には至らず月1回の会議を維持することになった。

九州支部

(1) 事業概要

インターネットラジオ配信(5月末時点26回)を実施し、リハビリテーション工学に関わる情報や知識の普及・啓発を図った。一般市販品やニュースに上がった開発品について、障害者や高齢者の生活支援としての応用も考えられる事案について話題提供を行った。また、掲示板を利用した情報交換の場も設けた。

インターネットラジオ配信サービス「stand.fm」利用 <https://stand.fm/channels/65e6f8613e0b28cf81e52982>

インターネット掲示板サービス「まめわざ」利用 <https://resja9.apage.jp/>

(2) 主要事業

インターネットラジオ配信サービス「stand.fm」を利用した情報発信

インターネット掲示板「まめわざ」を利用した情報交流

(3) その他

開催日：案件がある場合に都度開催した。役員間メーリングリストを活用

内容：事業報告・決算報告、次年度の事業計画案・収支予算案についての意見交換

九州支部への連絡先メールアドレス：koy@resja.or.jp